

2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年11月13日

上場会社名 AI CROSS株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4476 URL <https://aicross.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 典子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 さなえ TEL 03-6809-2555
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の業績 (2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	1,010	—	169	—	159	—	106	—
2018年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	31.88	—
2018年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2018年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2018年12月期第3四半期の数値及び2019年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 2019年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っておりますが、当該株式分割が2019年12月期の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	698	445	63.7
2018年12月期	547	338	61.9

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 445百万円 2018年12月期 338百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,329	18.7	155	54.6	140	47.8	95	9.9	27.77

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
2. 1株当たり当期純利益は公募株式数(450,000株)を考慮した予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大91,200株)は考慮しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	3,400,000株	2018年12月期	3,400,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	50,000株	2018年12月期	50,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	3,350,000株	2018年12月期3Q	3,350,000株

（注）当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っておりますが、当該株式分割が2018年12月期の期首に行われたと仮定して「期末発行済株式数（自己株式を含む）」「期末自己株式数」「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や雇用環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しております。しかしながら、米国の経済政策による貿易摩擦の懸念や、米中貿易摩擦の動向、中東における原油情勢などのリスク要因も抱えており、経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、日本におけるインターネットの人口普及率は79.8%と高い水準を維持しております。また、2019年6月末時点の移動系通信の契約数は、1億8,217万回線（前年同期比4.3%増）と増加が続いております（出所：総務省「平成30年通信利用動向調査」「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（2019年度第1四半期（6月末））」）。このような事業環境のもと、当社は、“Smart Work, Smart Life～テクノロジーでビジネススタイルをスマートに”をミッションとして、法人向け双方向SMSプラットフォーム「AIX Message SMS」及び法人向けビジネスチャット「InCircle」を通じた、ビジネスコミュニケーションプラットフォーム事業を運営してまいりました。

当第3四半期累計期間において、メッセージングサービス及びビジネスチャットサービス共に好調に推移いたしました。メッセージングサービスにおいては、新規取引先の獲得や既存取引先における配信通数の増加等により売上高が増加いたしました。ビジネスチャットサービスは引き続きライセンス数増加等により売上高が増加しております。

また、新サービスでありますAI Analyticsサービス「People Engagement Cloud」を第1四半期にリリースすると共に、安定運用いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高1,010,697千円、営業利益169,272千円、経常利益159,121千円、四半期純利益106,784千円となりました。

なお、当社はビジネスコミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、698,868千円となり、前事業年度末に比べ151,795千円増加いたしました。これは主に、無形固定資産においてソフトウェア仮勘定の完成に伴う減少46,252千円がありましたが、流動資産において売上高の増加に伴う売掛金の増加96,152千円、売掛金の回収に伴う現金及び預金の増加50,236千円、無形固定資産においてソフトウェアリリースに伴うソフトウェアの増加56,761千円によるものであります。また負債の合計は、253,017千円となり、前事業年度末に比べ44,636千円増加いたしました。これは主に、固定負債において長期借入金の返済による減少25,000千円がありましたが、流動負債においてSMS配信増加に伴う買掛金の増加30,062千円、利益増加に伴う未払法人税等の増加28,072千円によるものであります。純資産の合計は、445,850千円となり、前事業年度末に比べ107,158千円増加いたしました。これは、主に四半期純利益106,784千円による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月8日付「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました2019年12月期の業績予想につきましては変更ありません。

当社は、“Smart Work, Smart Life～テクノロジーでビジネススタイルをスマートに”をミッションに掲げて経営しており、2019年第3四半期累計期間の業績の進捗は以下のとおりです。

区分	通期業績予想 (単位：百万円) 自：2019年1月1日 至：2019年12月31日	第3四半期累計期間実績 (単位：百万円) 自：2019年1月1日 至：2019年9月30日	進捗率
売上高	1,329	1,010	76.0%
営業利益	155	169	108.8%
経常利益	140	159	113.1%
当期(四半期)純利益	95	106	111.2%

当第3四半期累計期間における通期業績予想に対する進捗率は、売上高76.0%、営業利益108.8%、経常利益113.1%、当期(四半期)純利益111.2%となっており売上高は、概ね計画通り進捗しております。一方営業利益につきましては、一部費用の未使用や使用時期のズレにより、計画を大きく上回って進捗しております。また、当第4四半期(2019年10月1日から2019年12月31日)においては、2019年第3四半期以前に想定していた費用の使用時期

のズレ込みによる発生と、新規上場に係る株式公開費用の発生、2020年12月期以降の売上高拡大のための販促費用の使用等を計画しており、業績予想に変更はありません。

なお、当該業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後、様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	261,775	312,012
売掛金	125,505	221,657
前払費用	15,399	24,508
その他	13,242	4,690
貸倒引当金	△106	△187
流動資産合計	415,816	562,681
固定資産		
有形固定資産	1,734	1,866
無形固定資産		
ソフトウェア	43,505	100,266
ソフトウェア仮勘定	59,489	13,236
無形固定資産合計	102,994	113,503
投資その他の資産	26,527	20,817
固定資産合計	131,257	136,187
資産合計	547,073	698,868
負債の部		
流動負債		
買掛金	72,803	102,865
1年内返済予定の長期借入金	30,000	30,000
未払金	14,541	17,764
未払法人税等	15,068	43,141
前受金	26,147	19,159
その他	7,321	22,587
流動負債合計	165,881	235,517
固定負債		
長期借入金	42,500	17,500
固定負債合計	42,500	17,500
負債合計	208,381	253,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	177,000	177,000
資本剰余金	153,000	153,000
利益剰余金	9,192	115,976
自己株式	△500	△500
株主資本合計	338,692	445,476
新株予約権	-	374
純資産合計	338,692	445,850
負債純資産合計	547,073	698,868

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,010,697
売上原価	590,905
売上総利益	419,791
販売費及び一般管理費	250,519
営業利益	169,272
営業外収益	
受取利息	2
その他	23
営業外収益合計	25
営業外費用	
支払利息	783
為替差損	1,005
株式公開費用	8,387
営業外費用合計	10,176
経常利益	159,121
税引前四半期純利益	159,121
法人税、住民税及び事業税	46,820
法人税等調整額	5,516
法人税等合計	52,337
四半期純利益	106,784

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

当社は、ビジネスコミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(公募による新株の発行)

当社は、2019年10月8日に東京証券取引所マザーズ市場へ上場いたしました。上場に当たり、2019年9月3日及び2019年9月18日開催の取締役会において、以下のとおり新株式の発行を決議し、2019年10月7日に払込が完了致しました。

この結果、資本金は402,630千円、発行済株式総数は3,850,000株となっております。

1. 公募による新株の発行

(1) 募集方法 一般募集(ブックビルディング方式による募集)

(2) 発行する株式の種類及び数 普通株式450,000株

(3) 発行価格 1株につき1,090円

(4) 引受価額 1株につき1,002円80銭

この金額は、当社が引受人より1株当たりの払込金として受け取った金額であります。

なお、発行価格と引受価額の差額は、引受人の手取金となります。

(5) 資本組入額 1株につき501円40銭

(6) 発行価格の総額 490,500千円

(7) 引受価額の総額 451,260千円

(8) 資本組入額の総額 225,630千円

(9) 払込期日 2019年10月7日

2. 資金の使途

①システム開発に関連する外注費用、②新規採用費用、③人件費、④借入金の返済、⑤広告宣伝費に充当する予定であります。

(第三者割当による新株の発行)

当社は、2019年9月3日及び2019年9月18日開催の取締役会において、株式会社SBI証券が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し(貸株人から借入れる当社普通株式91,200株の売出し)に関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を以下のとおり決議し、2019年11月1日に払込が完了致しました。

この結果、資本金は448,791千円、発行済株式総数は3,942,500株となっております。

1. 第三者割当による新株の発行

(1) 発行する株式の種類及び数 普通株式91,200株

(2) 割当価格 1株につき1,002円80銭

(3) 資本組入額 1株につき501円40銭

(4) 割当価格の総額 91,455千円

(5) 資本組入額の総額 45,727千円

(6) 払込期日 2019年11月1日

(7) 割当先 株式会社SBI証券

2. 資金の使途

上記「公募による新株の発行 2. 資金の使途」と同様であります。